

身体表现辞典

日语中的身体表达

八幡 啓/著



中国科学技术大学出版社

身体表现辞典

日语中的身体表达

八幡 啓/著



中国科学技术大学出版社

内 容 简 介

日语是一门“身体表现”十分丰富的语言。身体表现在日本人的会话、自言自语及文章中频繁登场,可谓数不胜数。

本书主要以“和语”为中心,按照从头到脚的顺序逐一展开解说(例如“气从头冒”“腿成直棍”)。对于各惯用语的意思、语源、标准使用例句和近义词、相关词都作了较为详细的解释说明,是一本轻松实用的身体语表现辞典,也是一本轻松有趣的课外读物。

希望本书的面世能有助于读者加深对日语的理解,使读者丰富自己的日语表达,并提高对文章的理解能力。

图书在版编目(CIP)数据

身体表现辞典:日语中的身体表达/(日)八幡啓著. —合肥:中国科学技术大学出版社,2013.7

ISBN 978-7-312-03202-8

I. 身… II. 八… III. 日语—身势语—研究 IV. H362

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2013)第 080498 号

出版 中国科学技术大学出版社
安徽省合肥市金寨路 96 号,230026
网址: <http://press.ustc.edu.cn>
印刷 安徽江淮印务有限责任公司
发行 中国科学技术大学出版社
经销 全国新华书店
开本 880 mm×1230 mm 1/32
印张 13.75
字数 382 千
版次 2013 年 7 月第 1 版
印次 2013 年 7 月第 1 次印刷
定价 38.00 元

著者 略歴

八幡 啓(やはた ひろむ)

和歌山県生まれ。大阪府在住。

大阪市立大学文学部国語国文学科卒業。

府立高校・短大勤務を経て2008年9月より2011年7月まで、中国・山東省泰安市の泰山学院外国語学院で日本文化史、日本文学を担当。

著書に「古典の散歩道」「平安京ミステリーファイル」「夢花火・小式部の恋」「恋はうたかたー『新古今集』恋歌五〇撰」など。

前 書 き

身体は私たちにとって、最も身近なものです。目や背中では自分の目では直接見ることはできませんが、身体は、ある意味では自分自身である、と言ってもよいでしょう。

日本語は、「身体表現(体のいろいろな「部品」を取り入れた表現)」が非常に豊かな言語です。日本人の会話や独り言や文章の中には、身体表現が頻繁に登場してきます。それこそ「指折り数え」れば切りがないほどです。

漢語の熟語まで取り上げれば、身体表現の範囲は、きっと際限なく広がっていくでしょうが、本書では主として、和語を中心とする身体表現の慣用句(例:「頭から湯気^{ゆげ}を立てる」「足を棒にする」など)を、「頭」の先から「足先」まで、体の部分を順にたどりながら解説を加えました。執筆に当たっては、楽しく役に立つ「身体表現辞典」を目標に、さらに単なる用例集ではなく、読み物としても読者が楽しめるように工夫を加えました。

それぞれの慣用句について、その意味や成り立ち、標準的な使用例(日常会話や文章の中での使用例)や、あわせて類語・縁語も示しました。本書は慣用句を解説することを目的としていますから、一目で意味の理解できる単語(たとえば「白髪」「赤面」「汗顔」など)は省略するか、あるいは軽く触れるだけにとどめました。取り上げる慣用句の範囲を広げるために、類語・縁語の項をできるだけ充実させるように配慮しました。同時に、類語・縁語の項でも必要に応じて具体的な使用例を示しました。また、解説文の中に出て来る語句についても、難解と



思われるものには注釈を付け、理解の助けとなるように配慮しました。

本書の出版に際しては、中国科学技術大学出版社の担当者、及び淮陰師範学院外国語学院の劉峰先生から多大な御尽力をいただきました。紙面を借りて一言お礼を申し上げます。また、巻末の索引の作成に当たっては、泰山学院・日本語科学生の王萌さん、章佩姪さんが大きな力を発揮してくれました。あわせて感謝の意を表します。

参考文献として、大辞泉(小学館)、大辞林(三省堂)、新明解国語辞典(三省堂)、日本国語大辞典(小学館)、広辞苑(岩波書店)などを随時参照しましたが、本書中の語釈及び例文は、すべて筆書自身が本書のために書き下ろしたものです。

本書を一読していただいて、日本語を母語とする人や、日本語を学んでいる人々の、日本語理解がさらに深まり、表現の世界がいつそう広がれば、筆者としてもうれしい限りです。

2013年3月1日

八幡 啓

前 言

“身体”与我们每个人是密切不可分的。即使我们无法直视自己的眼睛和后背,但是可以说,在某种程度上身体就是我们自己。

日语是一门“身体表现”十分丰富的语言。身体表现在日本人的会话、自言自语及文章中频繁登场,可谓数不胜数。

考虑到若把汉语熟语中的身体表现也加入的话,不免范围过广,因此本书主要以“和语”为中心,按照从头到脚的顺序逐一展开解说(例如“气从头冒”“腿成直棍”)。执笔之初,笔者便希望能为读者提供一本轻松实用的身体语表现辞典,而不仅仅作为用例集使用,同时也希望读者能视本书为一本轻松有趣的课外读物。

本书对于各惯用语的意思、语源、标准使用例句、会话中的使用例句和近义词、相关词都作了解释说明。鉴于本书的目的在于详解惯用语,对于那些一目了然的单词(白发、红脸、汗颜等)或是省略,或只给了简单解释。为了拓宽所举惯用语的范围,在近义词和相关词方面作了最大程度的补充。在必要时,对近义词和相关词也进行了举例说明。对于解说文中出现的较难理解的词语添加了注释,望有助于读者更好地理解其深层次意思。

本书出版之际,得到了中国科学技术大学出版社各位负责人及淮阴师范学院外国语学院刘峰老师的大力协助,在此略表谢意。此外,索引编成时,得到了泰山学院日语专业学生王萌、章佩娅的大力帮助,在此一并表示感谢。

本书在编写过程中,参考了《大辞泉》(小学馆)、《大辞林》(三省



堂)、《新明解国语辞典》(三省堂)、《日本国语大辞典》(小学馆)、《广辞苑》(岩波书店)等辞典,书中的解释及例文皆是笔者本人为本书而原创编写的。

希望本书的面世能有助于大家加深对日语的理解,从而丰富自己的日语表达,并提高对文章的理解能力。

八幡 啓

2013年3月1日

目 次

前書き	(i)
前言	(iii)
頭(あたま・こうべ・ず・とう)	(1)
髪	(50)
額	(67)
顔	(73)
つら 面	(96)
眉	(101)
目	(108)
鼻	(135)
口	(148)
唇	(164)
歯	(167)
舌	(176)
あご 顎	(186)
ほお 頬	(191)
耳	(196)
首	(203)
のど 喉	(214)
肩	(219)
胸	(227)
心臓	(234)



腹	(239)
胴	(251)
背中	(263)
腰	(273)
尻	(283)
腕	(303)
ひじ 肘	(309)
手	(314)
指	(324)
爪	(331)
膝	(340)
すね 脛	(347)
足	(351)
身	(358)
骨	(364)
きも 肝	(371)
はらわた 腸	(375)
涙	(379)
血	(387)
息	(395)
索引	(401)

頭

(「頭」を「あたま」と読む慣用句)



1. 頭^{かく}隠^{しり}して尻隠さず

原義と解説

「頭」を隠しても「尻」が見えている、つまり「本人はうまく隠した(隠れた)つもりでも、他人の目にはすっかり丸見えである」というような場面で、この表現が使われます。ここで隠しているものとは、もちろん悪事か何か、人に知られては困るものを暗示しています。悪事を巧妙に隠蔽^{いんぺい}したつもりでいたのに、ついうっかりボロを出して証拠を握られてしまったような時にも、この表現が使われます。従って、この言葉は、もともとは人の浅知恵^{あさちえ}、愚かさを嘲笑したのですが、「頭隠して尻隠さず」のような失敗をおかす人は、愚かではあっても、どこことなく憎めない感じもするものです。世間^{せけん}で巨悪と言われているような大物は、秘密を完璧に隠し通して、「尻」はもちろん「尻尾を出す」ようなへたな真似^{まね}も決してしないものです。また、この言葉には、隠れんぼをしている小さな子供の姿をイメージさせるような語感も漂^{ただよ}っていて、意味するところとは裏腹^{うらはら}に、ちょっとユーモラスな味を含んだ慣用句です。



使用例

(同僚どうしの会話)①

◇A:長い間欲しいと思っていたカメラを、とうとう買ったよ。

B:それはすごいな。高い買い物かい。

A:結構高かったけど、女房には実際よりずっと安い値段のように言っておいた。

B:そうか。それなら奥さんも怒らなかったな。

A:ところが、机の上に領収証を置き忘れていたので、結局、女房に値段がバレてしまったよ。

B:おいおい、しっかりしろよ。それではまるで頭隠して尻隠さずだなあ。

(同僚どうしの会話)②

◇鈴木:あら、高橋さん。風邪って聞いたけど、もう大丈夫なの。

高橋:うん、ありがとう。きのう一日寝ていたから、もうすっかり治ったよ。

鈴木:そう、それはよかったわね。でも最近の風邪って日焼けもするのね。

高橋:わっ、まずい。わかるかい。実は、きのう友だちとゴルフに行ってきたんだ。このことは内緒に頼むよ。

鈴木:そういうことなの。それって、まるで頭隠して尻隠さずね。まあ高橋さんのことだから、今度だけ大目^{おおめ}に見てあげるわ。(この会話に出てくる「大目に見る」も、もちろん身体表現の一つです。「厳しく、とがめない」の意味で使います。)

類語・縁語

「頭隠して尻隠さず」の意味に当たる類語は見当たりませんが、「頭隠



して尻隠さず」のような「～して、～ず」のパターンの類語をいくつか紹介しておきましょう。

木を見て森を見ず → 「目の前の木ばかりに目が行って、森全体の姿に目が届かない」ことを言います。「小さな事に目を奪われて、ものごとの本質に目を向けようとしない」態度について批判的に述べる時に用いられる表現です。たとえば「きみの議論を聞いていると確かに鋭いと思うところもあるよ。しかし、ちょっと細部にこだわ^{めぐ}り過ぎだよ。だから木を見て森を見ず」という印象がどうしても拭えないよ」などと使います。

仏作^{たましい}て魂入れず → せっかく仏像を作っても、魂を入れなければ何^{ありがたみ}の有難味もない、ただの木の端くれに過ぎません。「長い苦勞も肝心の部分が抜けていると意味がない」ということのたとえです。漢語の慣用句には「画竜点睛を欠く」というのがありますが、ほとんど同じ意味で使われます。竜の画に最後に「睛(＝瞳)」を書き加えることによって竜の画が完成するということです。「睛」を描かなければ竜ではない、ということになります。因みに、「睛」は「瞳」の意味ですから「睛」ではありません。ついうっかり書き間違えそうな字ですから要注意です。



2. 頭が上がらない

原義と解説

「相手と対等の立場に立って、堂々と振る舞えない時の様子や心理」を表す言葉です。何となく相手に引け目を感じる点があつて、頭を上



げることでもできず上目づかいに、恐る恐る相手を見ている感じがします。「引け目」は「気おくれ」の意味です。この語にも「目」が使われていますが、この場合の「目」は、身体の「目」ではなく「(ものごとが)ある状態にあること」を指しています。従って「引け目」は身体表現というわけではありません。「弱り目に祟り目」「落ち目」「控え目」「金の切れ目が縁の切れ目」などの「目」も同じ使い方です。)

使用例

- ◇やりくり上手でしっかり者の奥さんに、なかなか頭が上がらないご主人が世の中にはたくさんいるものだ。内助の功も痛しかゆしと言ったところだ。
- ◇借りた金をそのままにして不義理を続けているので、いつまでたっても彼には頭が上がらない。もう、そろそろ何とかしなければ。

注:内助の功 → 「男女雇用機会均等法」以後は影の薄くなった言葉ですが、夫が外で安心して働けるのも家庭を守る妻の貢献度が高いおかげだ、という意味で使われます。

不義理 → 「果たすべき義務を果たしていない」ことを指す語ですが、狭い意味では、特に「借りた金や物を返さないでいること」を指します。

類語・縁語

顔向けできない → 「頭」の代わりに「顔」を使った表現です。「恥ずかしくて(=面目なくて)、まともに面と向かって相手の顔を見られない」という意味になります。ほとんど同じ意味の言葉に「合わせる顔がない」というものもあります。「頭が上がらない」は相手に圧倒されている、という感じが強いのに対して、「顔向けできない」「合わせる顔がな



い」の方は、申し訳^{わけ}ないという感じが強くなる表現です。



3. 頭が重い

原義と解説

「頭が重い」は、二つの意味で使われます。一つは、文字の通りの意味ですが、寝不足か、あるいは熱があるか何かで、頭がどんより重く感じられることを表します。身体的に感じる「重さ」を表しています。もう一つは、悩みごとや心配ごとなどがあって、どうも気分がスッキリしない、気分が晴れない、という感じを表します。こちらは「頭」＝「心」ということになり、心理的な「重さ」を表しています。

使用例

- ◇(会社員)今朝、起きた時、何だか頭がボーっとした。変だなあと思って体温を測てみると36度5分^ぶもあつた。道理で頭が重いはずだ。きっと風邪だと思うから薬を飲んで一日ゆっくりすることにするよ。
- ◇(受験生の親)受験の時期が近づいてきたので、子供も緊張しているでしょうが、親の私にとっても頭が重い日が続きます。(受験戦争が終わるまでは、親も子も息を抜く<＝途中でひと休みする>ことができません。子供が無事に合格すれば、親もホッと胸を撫^なで下ろし<＝安心し、ほっとして>、ようやく肩の荷を下^おろした<＝重圧から解放されて楽になった>気分になります。)

類語・縁語

頭が痛い → この言葉にも二つの意味があります。単純に「頭痛が



する」という意味で使われることもありますが、むしろ「むずかしい問題や心配事でひどく悩んでいる」という意味で使われる方が多いようです。「頭が重い」よりは悩みの度合いが深いという感じがあります。「頭を悩ます」も、ほぼ同じ意味で使われます。いつの時代にも、人間には「悩みの種」は尽きないものです。

気が重い → こちらは、ずばりの表現です。同じように「重い」を使っていますが、「頭が重い」(「頭が痛い」)に比べると、悩みの度合いが軽いという印象があります。「^き気乗りがしない・^き気が進まない(＝積極的にやろうという気持が湧いてこない)が、仕方なく何かをやろうとしている時の気持」を表す言葉です。気が重い時は、^{あしど}足取り(＝足の運び・歩調)まで重くなってしまうです。



4. 頭が固い

原義と解説

「人の意見や新しいことをなかなか受け入れようとしない、^{ゆうずう}融通のきかない態度」を指す言葉です。頑固な人のことを否定的に言う言葉ですから、相手に向かって「あなたは頭の固い人だ」などと言おうものなら、相手はきっと頭に^{のぼ}血が上る(→後の9・類語 参照)でしょう。人間は年齢が進むに従って、残念ながら心身ともに老化が進みますが、せめて頭の柔軟さだけは保ち続けて、いつまでも「やわらか頭(＝柔軟に物事を考えることのできる頭)」でいたいものです。

使用例

◇うちの親父は、^{おやじ}どうしてあんなに頭が固いんだろうねえ。わが親な



がら、あの頑固さには呆れてしまうよ。もう少しやわらか頭になってくれると助かるんだけどねえ。

類語・縁語

頭が古い → 「頭が固い」とは少しニュアンスは違いますが「考え方が時代後れで、人の言うことになかなか耳を傾けようとしない」という点では、「頭が固い」に似ています。

頑迷固陋 → 漢語ですが「頭が固い」「頭が古い」の両方の意味を合わせ持った言葉です。「柔軟な考え方に欠け、いつまでも古いものにしがみついている態度」を言います。

石頭 → もちろん字義の通り「石のように硬い頭」という意味もありますが、今ではもっぱら「融通がきかず頑固な人」を指す言葉として使われます。そう言えば、「**頭突き**（プロレスの世界ではヘッド・バットと呼ばれています）」を必殺技にしている有名なプロレスラーがいましたが、彼の頭は、きっと文字通り「石頭」だったのでしょう。



5. 頭が切れる

原義と解説

「頭の回転が速く、瞬時に的確な判断を下せること」を言い表す言葉です。洞察力のある賢い人を「頭が切れる人」と呼ぶことが多いようです。

使用例

◇いつもながら彼の状況分析能力には感心するよ。彼は本当に頭が切